

評価方法の変更について

○目的

- ・これまでの評価方法では、定性的な小項目評価を積み上げ、大項目評価を行うため、顕著な実績があっても、全体評価としては中位となる傾向にあった。そのため、小項目ごとのウェイト付けの幅を広げ、数値化した基準を導入することで、できる限り客観的な評価となるように評価方法を変更する。

○小項目評価に関する基準

- ・評価項目の中で、「市民病院としての公的役割を果たすうえでの重要項目」及び「平成29年度計画重点項目」について2段階でウェイト付けをしているが、神戸市が重要と認める救急医療など、重要度に応じた評価を行うため4段階でウェイト付けをする。

	旧評価基準	新評価基準
小項目評価に関するウェイト付け	2段階	4段階

○大項目評価に関する基準

- ・客観的に評価を行うため、小項目による評価点（評価×ウェイト）をもとに大項目評価（得点率（評価点／配点））を行う。

	旧評価基準	新評価基準
大項目評価基準（S基準）	中期目標・中期計画の達成に向けて、計画を大幅に上回り、特に評価すべき進捗状況にある（評価委員会が特に認める場合）	中期目標・中期計画の達成に向けて、計画を大幅に上回り、特に評価すべき進捗状況にある（ <u>A評価基準を満たし、得点率が7割以上かつ小項目評価に5がある</u> ）
大項目評価基準（A基準）	中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる（すべての項目が3～5）	中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる（ <u>得点率が6割以上かつ全ての小項目評価が3以上である</u> ）
大項目評価基準（B基準）	中期目標・中期計画の達成に向けておおむね順調に進んでいる（3～5の割合が9割以上）	中期目標・中期計画の達成に向けておおむね順調に進んでいる（ <u>「得点率が5割台である」又は「得点率が6割以上であっても小項目評価に1・2がある」</u> ）
大項目評価基準（C基準）	中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている（3～5の割合が9割未満）	中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている（ <u>得点率が4割台である</u> ）
大項目評価基準（D基準）	中期目標・中期計画の達成のためには大幅に遅れている又は重大な改善すべき事項がある（評価委員会が特に認める場合）	中期目標・中期計画の達成のためには大幅に遅れている又は重大な改善すべき事項がある（ <u>得点率が4割台に達しない</u> ）

【参考】大項目評価基準（S～D評価）のイメージ図

小項目 得点率	評価 1	評価 2	評価 3	評価 4	評価 5	
70%～	B評価		A評価			S評価
60%～						
50%～	B評価					
40%～	C評価					
～39%	D評価					

* 小項目評価

- 5・・・年度計画を大幅に上回って実施
- 4・・・年度計画を上回って実施
- 3・・・年度計画を順調に実施
- 2・・・年度計画を十分に実施できていない
- 1・・・年度計画を大幅に下回っている